

山城・コース	長野県・木曽・中央アルプス前衛・糸瀬山
実施年月日	2009年05月03日(日)
参加者	松永, 白倉, 杉本夫婦
コースタイム	中央線須原駅 8:40 → 登山口 8:45 → 9:30 馬塞道 9:50 → 11:00 丸屋の鳥屋 → 青ナギ手前の展望台 12:30 → 12:55 頂上 13:25 → 15:10 登山口 地図はこちら

中央アルプス遠望



頂上で昼食



のろし岩に登る



G.W.中は全員の休暇が合わず、5月9日(土)10日(日)で毛勝ちに行く事になり、4連休中は車の渋滞を避けて、電車利用で木曽の糸瀬山に日帰りで行くことになった。須原駅に降りた登山客は他にはなく、「G.W.中だから他所に遠出してこの山に登る人はいない。」などといいながら鹿島神社の登山口へ。大杉の根本から古びた大きな神社を横に見ながら登りだす。

のんびり

した山行で、林道手前の「馬塞土」ではや休憩となった。道標は古いながら完備していて、聞き慣れない地名もよくわかる。

天気もいいしのんびり30分に一回くらい休憩して、おしゃべりをしながら登る。息を切らして「胸突き八丁」を過ぎ、「丸屋の鳥屋」などと聞き慣れない所を通過し、ブナ、ナラ等の樹林帯を過ぎ「山居の鳥屋」を越え岳樺の樹林あたりから展望も開けだした。帰りの時間も心配になりここらあたりから頂上までは1時間ほど休憩なしで歩いた。

頂上付近は樹林がうっそうと茂り大きな転石がごろごろあり、ちょっと不思議な光景だった。二等三角点も何故こんな所にあるかと思ふ様な樹林の中の転石上にあった。

のろし岩ははしごが不安定で、白倉だけ登った。

帰りは、須原宿で喫茶店にでも入ろうと、急いだがそんな余裕のある時間には着かなかった。もっとも、駅前の看板で見る限り、喫茶店もなさそうだった。帰りの電車の窓から見ると、国道19号も中央自動車道も渋滞はなかった。でも電車なのでおしゃべりしたり、居眠りしたり 本当に楽しかった。

ただJRの運賃が結構高く1人あたり¥4000ほどになった。登山に車をよく使うが、できれば鉄道利用したい者にとつては、環境保護に反する高速道路料金の割引より、ぜひ鉄道料金を半額にしてほしい。また国道沿いのコンビニだけが栄え、古い商店が衰退していくのも忍びない気がした。



登山口 鹿島神社樹齢800年の大杉